

# 不二

小学初級版 幼・1・2・3年生用



令和四年度第2回昇段試験課題発表





1/11/2019

# かんじのひょうげん

こんがいのテーマは「王」というかんじです。

字なのでしょうか。  
どのようにして生まれた漢

この字は大むかしの中国で  
使われていた「王」という漢  
字です。



殷の甲骨文 (注)

(およそ二千三百年まえの字)

「王様」だったらいのになあ。「そんな空想をしたこと  
はありませんか。  
でも、国の平和と国民の幸  
せをまもるため、王様もたい  
へんかもしれませんね。



周の金文 (注)

(およそ二千七百年まえの字)

「王」という字はおのの形  
から生まれたと考えられてい  
ます。  
左の金文では、一番下の横  
線が刃物のように見えます。  
おの手にした王様が、国  
をまとめていた様子がイメ  
ジできますね。

おのの形のほかに、王様  
のえらさをあらわす置物の形  
が「王」という字の元になっ  
たとも言われていますが、こ  
の置物もおのをかたどって  
たようです。



「禮器碑」(漢の隸書)

(およそ千八百五十年まえの字)

(注) 甲骨文：占いの言葉が亀の甲羅や獣の骨の骨に刻まれて残された中国最古の文字。  
金文：儀式に使われた青銅器などの金属に鑄込まれて伝えられた文字。

いろいろな「王」のひょうげんを<sup>み</sup>てみましょう。

(およそ百年まえの字)



くさか べめいかく おおく ぼこうしんとう ひ めいじ かいしよ  
日下部鳴鶴「大久保公神道碑」(明治の楷書)

甲骨文では人が地面に立っているようにも見えます。  
「一番上の線を「天」、一番下の線を「地」に見立て、天地を一つにまとめるのが「王様」なのだと思える人もいます。



いしばしさいすい ぎょうしよせんじもん しょうわ ぎょうしよ  
石橋犀水「行書千字文」(昭和の行書)

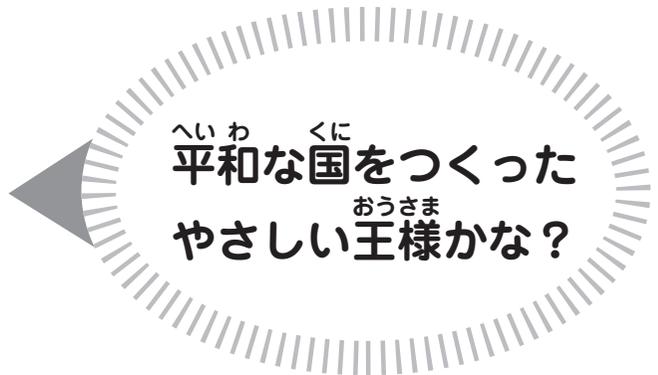
※行書は点や画をつづけて筆を運びます。  
美しく速く書きやすい書体(漢字の書き方)です。

☆今月は「王」のいろいろなひょうげんを楽しみました。

(およそ千三百五十年まえの字)



そん かてい しょふ どう そうしよ  
孫過庭「書譜」(唐の草書)



※草書は点画をかたんに略して書きます。  
昔の人は手紙をサラサラ草書で書いています。

中国の古代王朝名: 夏・殷・周・秦・漢

夏・殷・周の三つの王朝をまとめて三代ともいう。

# 言葉の力

齊藤 大

楽しい、うれしい。かなしい、さびしい。毎日のくらしの中でいろいろな気持ちを感じることもあるでしょう。お母さんやお父さんにはめられた、先生にしかられた、ちょっとした一言で明るい気持ちになったり、落ちこんでしまったりするかもしれません。

こんな実験をした人がいます。同じ種類の植物を二つ学校においておき、片方には「やさしい言葉」で毎日語りかけ、もう片方には「悪口」を言いつづけます。すると一か月後、「悪口」を言いつづけられた植物は、葉がしおれ明らかに元気をなくしてしまつたのです。

私は「植物に言葉がわかるのかな？」とおどろいたのと同時に、言葉の力を感じずにはいられませんでした。

昔から日本人は、言葉には不思議な力が宿ると信じ、それを「言霊」と呼んできました。家族や友達、そして自分にも、がんばる力がわいてくるような「やさしい言葉」をかけてあげてください。

(初級版上級版編集担当)

## 目次

◇ かんじのひょうげん……………	表2
◇ 巻頭言／目次……………	2
◇ 今月の課題 半紙幼年・一年生 ……	3
半紙二年生 ……	4
半紙三年生 ……	5
硬筆幼・一年生 ……	6
硬筆二・三年生 ……	7
条幅幼・一二年生 ……	8
条幅三年生 ……	9
◇ 手本のならいかた……………	10
◇ 最優秀作品……………	18
◇ 優秀作品……………	20
◇ みんなのこえ……………	27
◇ 七月月例競争成績表……………	28
◇ 不二誌案内……………	41
◇ 夏休み・お盆写経……………	42
◇ 昇段試験出品のきまり……………	46
◇ 編入試験受験案内……………	48
◇ 競争出品のしかた……………	50
◇ 硬筆用紙幼／二年生……………	51
◇ 硬筆用紙三年生／ヨーコちゃん……………	52
◇ 出品券／課題予告／あとがき……………	53
◇ 全日本学生書道展公募規定……………	表3
表紙 龍門石窟の孫悟空の拓本より	
デザイン 石橋 應和	

しめきり厳守 【今月の出品期間 8月29日(月)～9月6日(火)】

10月号(8月29日～8月31日発送)発表の段級を9月出品の作品に書いて出品してください。

段級検索 I Dのご案内は28ページをご覧ください。

◎教室長の方には、実力向上のためにも一般版の購読をお勧めいたします。

1級からご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。昇段試験出品のきまりをご覧ください。

はんししょうねん  
〔半紙幼年・1年生〕 六段～1級＝昇段試験課題  
七段・2級～10級＝月例課題

いしばしおうわ  
石橋應和先生書

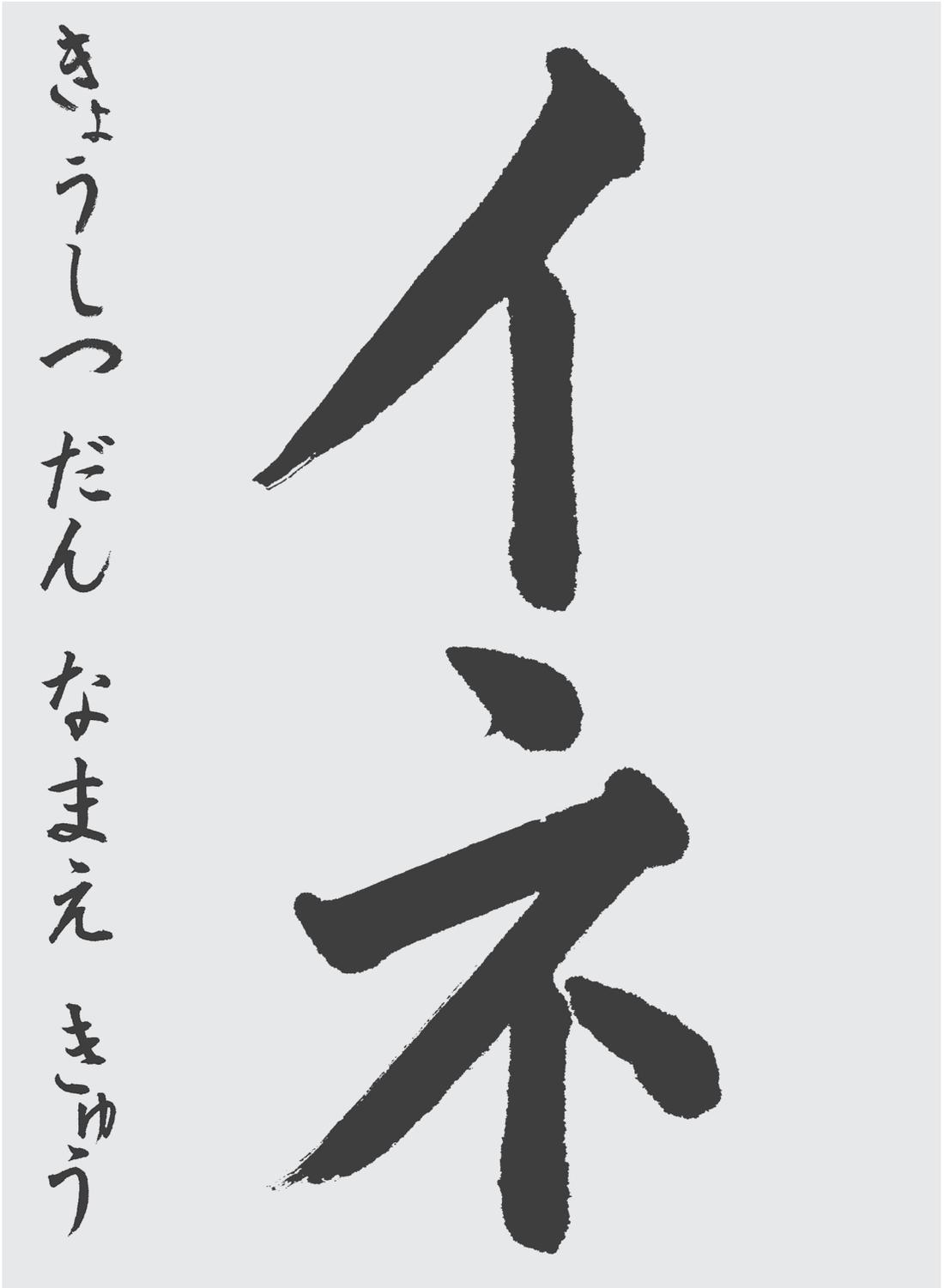
イ  
ネ

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字  
(初・二・三・七)で記入

☆級は黒の算用数字  
(1・2・3・10)で記入

☆出品券をはる



(手本のならいかたは10ページ)

☆はじめて出品するときは、このなかの一字だけを  
かいても出せます。一字だけを出品する場合は、「幼  
年・一年」と学年を出品券横に明記してください。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。  
☆なまえもさくひんのいちぶです。  
ていねいにかきましょう。

1級からご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。昇段試験出品のきまりをご覧ください。

はん し  
〔半紙 2年生〕

六段～1級＝昇段試験課題  
七段・2級～10級＝月例課題

こく ぼ れい せき  
小久保嶺石先生書

カ  
エ  
デ

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字  
(初・二・三・七)で記入

☆級は黒の算用数字  
(1・2・3・10)で記入

☆出品券をはる

きょうしつ  
だん  
なまえ  
きゅう

カ  
エ  
デ

(手本のならいかたは10ページ)

☆はじめて出品するときは、このなかの一字だけを  
かいても出せます。一字だけを出品する場合は、  
「二年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆なまえは、かけるひとは漢字でかきましょう。  
☆なまえもさくひんのいちぶです。  
ていねいにかきましょう。

1級からご出品の方は、段位取得のため昇段試験受験料がかかります。昇段試験出品のきまりをご覧ください。

はん し  
〔半紙 3年生〕

六段～1級＝昇段試験課題  
七段・2級～10級＝月例課題

こく ぼ れい せき  
小久保嶺石先生書

☆教室名を記入

☆段は赤の漢数字  
(初・二・三・七)で記入

☆級は黒の算用数字  
(1・2・3・10)で記入

☆出品券をはる



夕  
日

(手本のならいかたは11ページ)

☆はじめて出品するときは、この中の一字だけを書いて出せます。一字だけを出品する場合は、「三年」と学年を出品券横に明記して下さい。

☆名前はなるべく漢字で書きましょう。  
☆名前もさくひんのいちぶです。ていねいに書きましょう。

〔硬筆幼年〕

六段〜1級Ⅱ昇段試験課題 七段・2級〜10級Ⅱ月例課題

（手本のならいかたは12ページ）

ど	り
ん	ス
ぐ	
り	

リス どんぐり

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン、色は黒です。ボールペンの使用は不可。  
★清書では消しゴムを使用しません。

依田蘭香先生書

〔硬筆一年生〕

六段〜1級Ⅱ昇段試験課題 七段・2級〜10級Ⅱ月例課題

（手本のならいかたは13ページ）

フ	月
ク	あ
口	か
ウ	り

月あかり フクロウ

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン、色は黒です。ボールペンの使用は不可。  
★清書では消しゴムを使用しません。

依田蘭香先生書

☆名前、かける人は漢字でかきましょう。課題と同じようにていねいにかきましょう。  
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

〔硬筆二年生〕

六段〜1級Ⅱ昇段試験課題 七段・2級〜10級Ⅱ月例課題

（手本のならいかたは14ページ）

虫	し
の	ず
な	か
き	な
声	夜

しずかな夜 虫のなき声

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。  
★清書では消しゴムを使用しません。

荒谷由美子先生書

※高学年の用紙を使う場合は右のように必ずマスの線を入れて書いてください。

〔硬筆三年生〕

六段〜1級Ⅱ昇段試験課題 七段・2級〜10級Ⅱ月例課題

（手本のならいかたは15ページ）

風	コ
に	ス
ゆ	モ
れ	ス
て	の
い	花
る	が

コスモスの花が風にゆれている

★用具は鉛筆または呉竹かきかたペン（サインペン）、色は黒です。ボールペンの使用は不可。  
★清書では消しゴムを使用しません。

荒谷由美子先生書

☆名前は、なるべく漢字で書きましょう。課題と同じようにていねいに書くようにしましょう。  
☆鉛筆の濃さは、2Bか3Bであることがのぞましい。

六段～1級＝昇段試験課題 七段・2級～10級＝月例課題

じょうふく  
〔条幅2年生〕 こくぼれいせき  
小久保嶺石先生書

じょうふくよう  
〔条幅幼・1年生〕 こくぼれいせき  
小久保嶺石先生書

教室名

段赤の漢数字

名前

級黒の算用数字



しゅっぴんけん  
出品券をはる

【お願い】 条幅作品でも、半紙作品と同様に、「教室名、段(赤の漢数字)、名前、級(黒の算用数字)」を書いてください。

つゆ  
草

教室名

段赤の漢数字

名前

級黒の算用数字



けしき

★条幅の大きさはたて68cm×よこ23cm(全紙6分の1)です。

しゅっぴんけん  
出品券をはる

# 学習のポイント

## 章法（構成）

名前はしあげです。全体を見て入れましょう。

書き終わったら、少しはなれて、字の大きさや線の太さがよいか見ましよう。全体感、三字の収め方を確かめましよう。

## 反省と鑑賞

条幅作品では、筆使いを工夫して書きましよう。筆の鋒の弾力（バネ）を使って、のびのびと。

## 筆使い

教室名

段（赤の漢数字）

名前

級（黒の算用数字）

【条幅3年生】 小久保嶺石先生書

虫取り



★段は赤の漢数字（初・二…七）、級は黒の算用数字（一・二…十）で記入。

出品券をはる

（手本のならいかたは16ページ）



◆双鉤法  
ふでのもちかた

人さしゆび、中ゆびの2本をふでのじくにかけてもつもちかた。

紙面から手首を離して、筆管は第二関節に副えます。手首を柔らかくして、指には力を入れずに軽く持ちます。腕を開いた分だけ腕を上げ、手首と指を少し内側にまわした型で筆を持ちます。

これは運筆のときの筆と手指、腕の状態を示しているではありません。ご注意ください！

ここにちゅうい 幼・1年

ねらい

★体で書くことを学ぶ。

★左はらいはのびやかにひく。

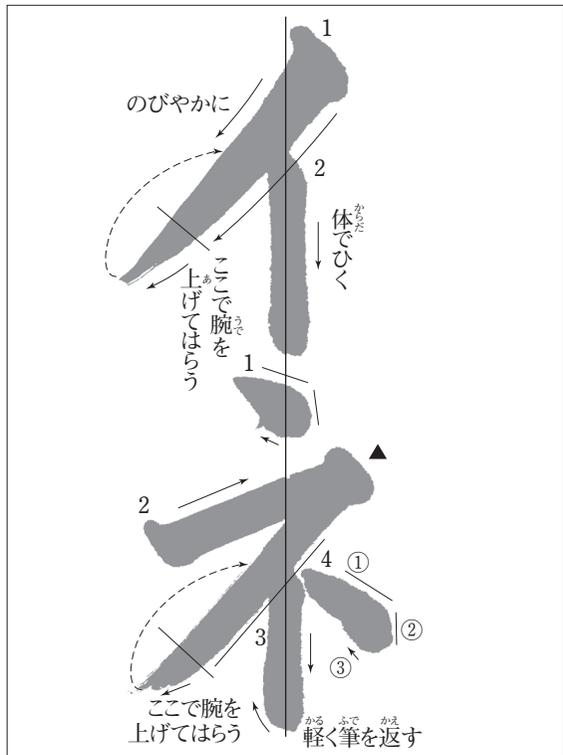
学習のポイント

イ…一かくめのななめの角度に注意。一かくめから二かくめにつなげる。二かくめは軽く入って体でひく。

ネ…一かくめの点を中心に、二かくめの転折(折れ)

は筆を立てており、のびやかに左ななめにはらう。

四かくめは①、②、③のリズムで。



▲とめてほうこうをかえる

ここにちゅうい 2年

ねらい

★半紙三字書き課題。

学習のポイント

カ…一画めの力強い折れ。二画めの左はらいをのびやかに。

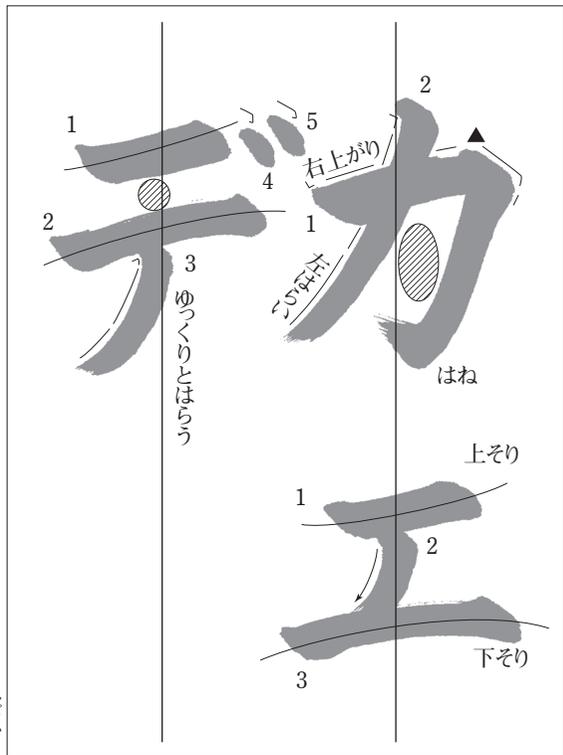
エ…横画の上下のそりを作る。二画めはやや左へ筆を

はこぶ。

デ…「エ」と同じように一・二画めの横画は上そりと下

そりの形をとる。三画めはゆっくりはらう。点も

心をこめてうつ。



▲とめてほうこうをかえる

◎あきに注意

ここに  
ちゅうい 3年

ねらい

★左はらい、**転折(折れ)**の練習。  
★姿勢の確認。(上の字を書く時は半紙を手前にひく)

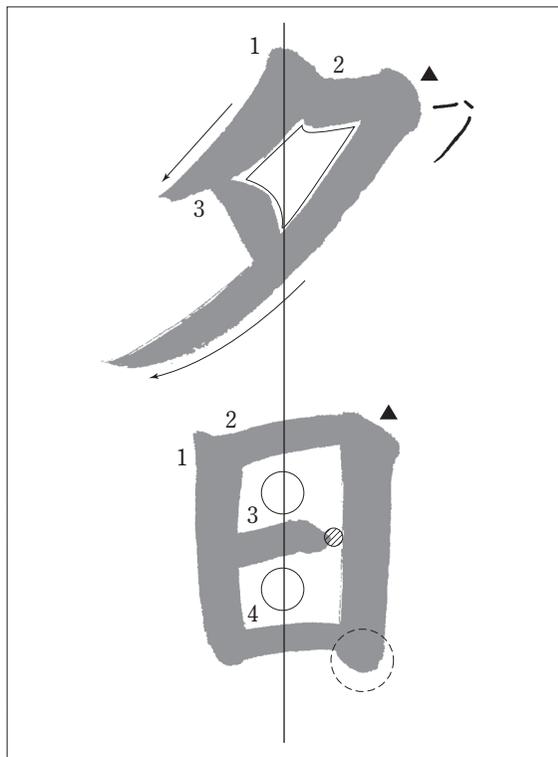
学習のポイント

タ：一・二画めの左はらいは長さに気をつけて、のびやかに筆を運ぶ。二画めの**転折(折れ)**では、腕を上げ筆の鋒先の向きを変えようにする。  
日：小ぶりの長方形をイメージして書くとよい。横画は細め、たて画は太めの線で表現している。

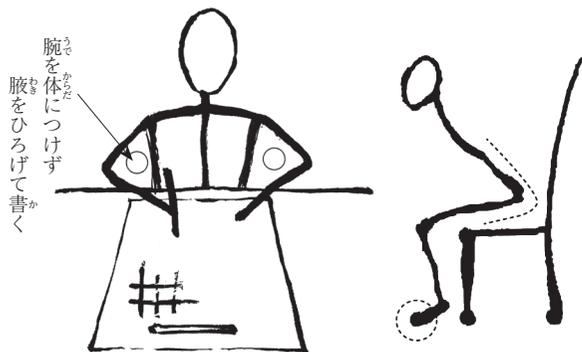
▲とめてほうこうをかえる

◎あきにご注意

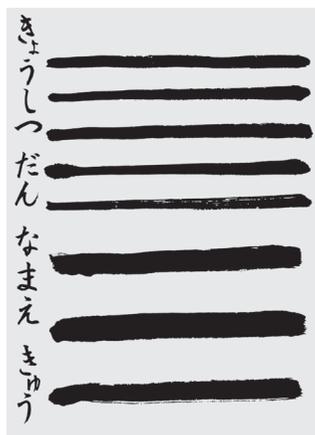
○広さに注目



【正しい姿勢】



- 両腕をはって体で書く  
(下腹に力を入れて体を前後左右に動かせるように)
- 机との間にゲンコツ1つ、背もたれとの間にゲンコツ2つから3つ
- 両足は少し開いてつま先を床につける。
- おしりを突き出すように座る。



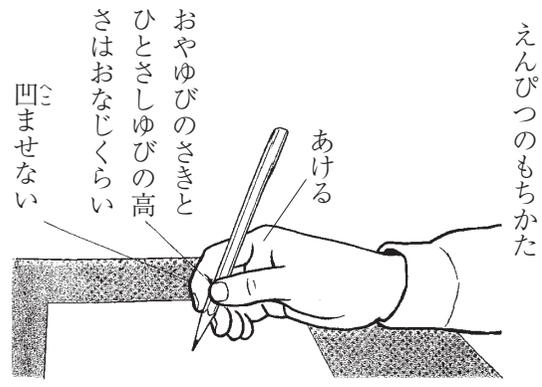
課題を書く前の準備運動に「横棒」を書いてみましょう。  
書道は始めたばかりの方は「横棒」を書いての出品も可とします。  
出品券横に必ず学年を明記して下さい。

あける		あける	
<p>1 2 3 4 めいへんのきごころ とめる</p>	と	<p>1 2 まっすぐ はらう</p>	り
<p>はらうあげる</p>	ん	<p>1 2 はらう とめる</p>	ス
<p>1 2 3</p>	く		
<p>1 2 すこしまるくへ はらう</p>	り		

「ミ」(だく点)をつけるのをわすれないで!

▲とめてほうこうをかえる  
●あきさに注意

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。



依田蘭香先生書

× 月 ○ 月

はんぶん  
半分くらいまで下へ

× ○

おな  
同じ広さ  
下をすこしほそくする

▲ とめてほうこうをかえる

○ 同じ広さ

● あきに注意

※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

よ  
だ  
らん  
こう  
依田蘭香先生書


あける		あける	
	し	し	
	の	す	し
な	—	か	フ
き	—	な	—
	—		→

▲ とめてほうこうをかえる

○ 同じひろさ

◎ あきに注意

※中心の線は下じきに入れて書きましよう。  
※一字の書きはじめの部分を示しています。

あらやゆみこ  
荒谷由美子先生書

※上をそろえた書式で書いています。  
 ※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

<p>風</p> <p>に</p>		<p>ゴ</p> <p>ス</p> <p>モ</p> <p>ス</p> <p>の</p> <p>花</p> <p>が</p>	
-------------------	--	--	--

▲ とめてほうこうをかえる  
 ● あきにご注意

※中心の線は下じきに入れて書きましよう。  
 ※一字の書きはじめの部分を示しています。

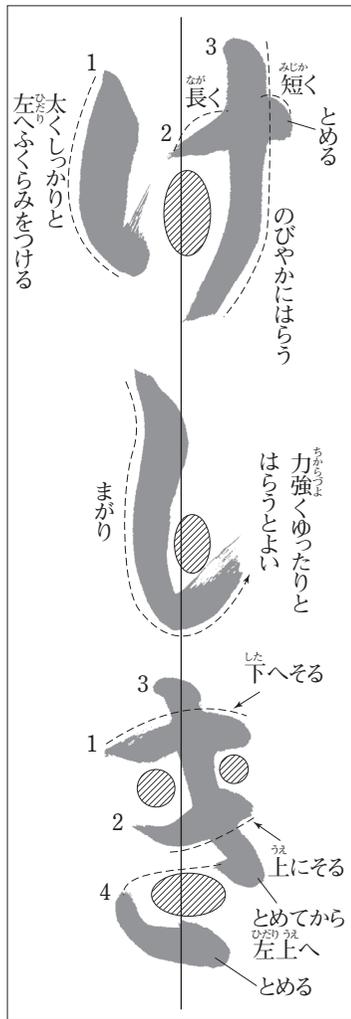
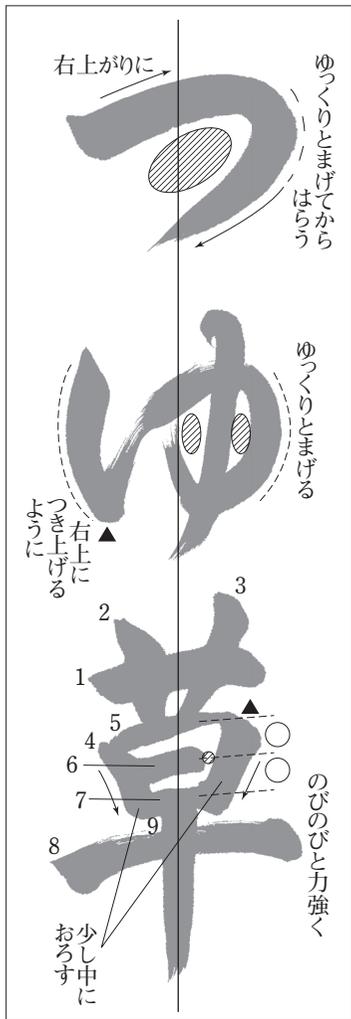
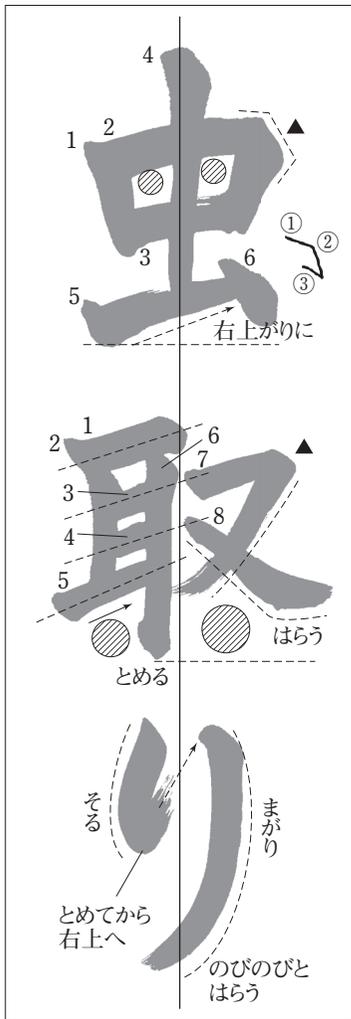
荒谷由美子先生書

# てほん 手本のならいかた / じょうふく 条幅

こくほれいせき 小久保嶺石先生書

こくほれいせき 小久保嶺石先生書

こくほれいせき 小久保嶺石先生書



【お願い】条幅作品でも、「教室、段（赤の漢数字）、氏名、級（黒の算用数字）」を書いてください。

▲止めて方向を変える

○広さに注目

●あきさに注意

## ここに 3 年生

## ここに 2 年生

## ここに 幼 1 年生

ねらい  
★横画、点、そりに注意して書く。  
虫：横画のそれぞれ方向、角度に注意する。五画めの横画は右上がりに書く。六画めの点は①②③の筆の運びの要領で書くときよい。  
取：横画の角度は一・三・四画めは一定にして、五画めは少し右上に。「又」は下をあげるような位置に書く。  
り：一・二画めはそれぞれふくらみを出してまとめる。

ねらい  
★まがり、よこ画のかんかく、方向。  
つ：まがりはゆつくりていねいに。  
ゆ：はじめのたて画はすこしふくらみをつける。右のまがりは大きくのびやかに。  
草：よこ画のかんかく、角度、方向と長さをよく見ること。

ねらい  
★はらい、まがりの筆の使い方。  
け：一かくめは力強く太めに、左へふくらみを出す。三かくめはのびのびとはらう。  
し：左へふくらみを出して、右上へゆつたりとはらう。  
志：一・二かくめはそれぞれそろそろ。三かくめはななめ右下へ、四かくめは力強く、さいごはとめる。

# 第72回全日本学生書道展<sup>公募規定</sup>

出品期間：令和4年10月3日(月)～10月7日(金)

(趣 旨) 感受性に富む幼少年期の児童、生徒達に書道作品発表の場を提供し、書道研鑽を通して、我が国の誇る伝統ある文字芸術、書道の知識を豊かにし、感性を陶冶し、未来を担う豊かな人間育成に貢献すると共に、日本人としての自覚と誇りを持つ人材の育成に資する。

部 門	寸 法	出品料(税込)	表装料(税込)
① 幼・小学部 全紙 1/6	縦 68cm×横23cm	1,500 円	3,300 円
② 幼・小学部 一字書	縦 34cm×横35cm	1,500 円	3,500 円
③ 中 学 部 半切 1/2	縦 68cm×横35cm	2,000 円	3,500 円
④ 中 学 部 一字書	縦 58cm×横53cm	2,000 円	4,700 円
⑤ 高 校 部 半切	縦136cm×横35cm	3,000 円	4,000 円
⑥ 高 校 部 一字書	縦 58cm×横53cm	3,000 円	4,700 円

- \* 縦作品のみで横作品は不可。
- \* 作品は「未表装」のまま出品すること。
- \* 各部とも出品点数は制限しない。
- \* 各部とも選文・書体自由。
- \* 臨書の場合は、出典、釈文を出品券の各欄に明記のこと。
- \* 墨色についても配慮すること。
- \* 規定違反は受け付けない。
- \* 秀作賞以上の作品は本会で一括表装する。表装料は作品返却時に指定表装店より代金引換。

会 期 令和 5 年 1 月 4 日 (水) ～ 1 月 10 日 (火)

- ・ 午前9時30分～午後5時30分 (入場は午後5時まで)
- ・ 最終日は午後2時まで (入場は午後1時30分まで)

会 場 東京都美術館 2 階第 2・3 展示室 (東京都台東区上野公園8-36)

授賞式 令和 5 年 1 月 8 日 (日)

褒 賞 文部科学大臣賞、学会大賞、中国大使館賞、東京都教育委員会賞、他各賞

- ◇全日本学生書道展関係の郵便物は「不二」誌競書との混同をさけるため、封筒のおもてに「全日本学生書道展係」と明記のうえ別個に送付すること。
- ◇本展覧会規定の出品目録や郵便振込用紙の請求はすべて返信用封筒(住所・氏名記入、切手140円貼付)同封のうえ全日本学生書道展係宛に申し込むこと。

《送付先・お問い合わせ》

〒101-8358 東京都千代田区西神田2-2-3

公益財団法人日本書道教育学会 全日本学生書道展係

電話：03-3234-3956 FAX：03-3234-3548



第13回

# 漢字造型と 傳統の寫經展

入場  
無料

## 出品者

水寿 梧水 樹草 音秀 霞月 濤春 苑琴 翠舟 水峰  
 稻万 井望 香淡 琳桂 幸窗 香溪 玉真 清虹 淀菖  
 木山川 巴井 尾條 宮川 田原 橋浦 廣川 阪田  
 鈴須 立辰 永中 中二 二長 林福 船三 安吉 吉吉

城和石 月芳 祥園 華晃 石鳳子 仙苑 洽山 山邑  
 鯉應 嶺 秋蓮 香華 彩芝 小泰 景秀 清鳳 映愛 華  
 橋橋 保 野塚 宿原 倉塚 川岡 谷木 川島 林原 木  
 浅飯 指上 大大 小片 甲鏞 龜小 小菅 鈴

会期 令和4年9月20日[火] - 25日[日]

午前11時～午後7時 (最終日は午後5時まで)

会場 鳩居堂画廊 3階・4階

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目7-4

TEL:03-3574-0058

【主催】公益財団法人日本書道教育学会 【後援】学校法人 日本書道藝術専門学校  
www.nihonshodou.or.jp

## 毛筆・ペン・篆刻作品展

第44回

# 全国公募 千字文大会

会期 令和4年9月24日[土] - 26日[月]

会場 日本書道藝術専門学校 (第1会場)、東洋文化不二研修所 (第2会場)  
(東洋文化不二研修所) 〒414-0044 静岡県伊東市川奈 1191 TEL 0557-45-3254

時間 午前10時～午後4時30分 (最終日は午後3時まで)

【主催】学校法人 日本書道藝術専門学校 公益財団法人 日本書道教育学会

入場  
無料

〈日本書道藝術専門学校 千字文大会事務局〉

〒414-0051 伊東市吉田1022 TEL (0557) 45-4194 FAX (0557) 45-3256  
www.nihonshodou.ac.jp

不

二

小学  
初級  
級版

ねん	ふじきょうしつ
くみ	だんぎゆう
なまえ	はんし
	こうひつ
	じょうふく